

第69回 富士見祭が 開催されました!



校友会からのご挨拶

新たな未来へ向かって

日本歯科大学校友会 会長
渡邊 儀一郎



第69回富士見祭のメインテーマは“Advance”であった。昨年度と比べ、外部からの来場を開放し、企画も拡大、模擬店も出店し、従来通りの富士見祭を迎えることができた。まさに、今回のメインテーマ“Advance”に合致している。

学生時代に経験したことは、すべて将来に繋がっております。富士見祭に参加したすべての仲間(チーム)に感謝のエールを送ります。

去る10/26(土)・27(日)に第69回富士見祭が開催されました。今年度の富士見祭のテーマは、『Advance』でした。縮小して実施した昨年よりも“進化”した富士見祭にしたいという思いを込めました。外部への開放、模擬店、芸能企画など昨年より企画を拡大し、コロナ前と同じ、そしてより進化させるよう目指してきた今回の富士見祭を、実行委員長として引っ張っていくことは簡単なことではありませんでした。仲間と協力し、一つのことを成し遂げたというこの経験は、私の一生の財産になると思います。連綿と受け継がれてきた伝統を引き継ぎながらも、新しい風を吹き込んだ第69回富士見祭に実行委員長として携われたことを大きな誇りに感じます。最後になりましたが、第69回富士見祭をサポートして下さった、先生方や学生部の方々、近隣の皆様に感謝申し上げます。



富士見祭
実行委員長 4年
磯野 琴音

- T : together (一緒に)
- E : enthusiasm (情熱)
- A : attitude (態度)
- M : mental toughness (精神力)

行動を共に、情熱を燃やし、状況に対応した心構えと気力を一歩前へ邁進して“富士見祭”のさらなる飛躍を祈ります。

日本歯科大学という固い絆で繋がり、卒業後は校友会・歯学会に入会し多くの卒業生の方々と交流をして絆をさらに深めて下さい。

日本歯科大学校友会・歯学会の輪を「日本全国」に広げて頂きたいと思います。

特別講義 校友会



恒 例の5年生の特別講義が日本歯科大学校友会により両学部で開催された。麻布デンタルアカデミーの石黒智彦先生(99回)による、歯科医師国家試験対策講義で、生命歯学部96名、新潟生命歯学部51名が受講した。内容は、①国試の結果、傾向 ②対策、準備 ③合格までの道標の3つで構成され、冒頭では国家試験の厳しい現状がデータで示された。②・③では、合格のために必要な無駄のない勉強法と国試対策が、専門家の立場から示され、学生も1年後の国家試験に向け、気持ちを新たにされた様子だった。受講後のアンケートでは、「モチベーションが上がった」「この時期に受講することができて良かった」という感想も多く寄せられ、有意義な特別講義だった。

講演後には多くの学生が石黒先生へ質問に集まり、爽りの多い会であった。



埼玉県人会

冬 の兆しを感じる季節となりました。

先日11月14日に数年ぶりに埼玉県人会を執り行うことができました。

県校友会から先生方4名、大学の先生方8名、学部2～5年の学生12名、計24名が参加致しました。

久しぶりの開催となったため、学生は全員初めての参加となり、また初めてご参加頂く先生方もおられました。新鮮な雰囲気でもた県人会を復活させることができ、先生方とのお話も弾み、とても楽しい会とすることができました。

来年度の開催も楽しみにしております。



生命歯学部5年
小倉 美真



プロフェッショナルリズム講義

校友会・歯学会について理解を深めよう!

令 和6年8月29日(木)、1年生に対してプロフェッショナルリズム1という講義枠で日本歯科大学校友会・歯学会について説明をしました。

校友会と同窓会の違い、校友会事業の種類にどのようなものがあるか、歯学会とは、など入学したら校友会・歯学会のことについてよく知ってほしいと思います。

校友会・歯学会は卒業してから入会しますが、学生時代も決して無縁ではありません。合同合宿・文化祭・学生表彰・特別講義など数多くの事業をサポートしています。お互いに助け合いながら校友会会員が結束し、母校ならびに歯科界の発展に寄与してもらいたいと思います。



校友会本部
常務理事
石川 明子
(70回)



教授紹介

新潟



新潟生命歯学部
解剖学第2講座
辻村 麻衣子

皆さんは進む道を決めていますか。私は迷いました。

高校卒業時には、恐竜などの古生物への漠然とした興味から、早稲田大学教育学部の地学へ。入学準備品のリストにヘルメットを見た時の衝撃は大きかったのですが、大学生活は楽しく、素敵な友人もできました。その一方で、医療に関わる仕事に就きたいという思いが募り、翌年、新潟大学歯学部に入り直しました。さらなる転機は大学院生時代。インプラント治療を学びたいと補綴学の大学院に入ったのですが、研究でお世話になった組織学の講座で、臨床を裏付ける基礎研究の重要性を知り、臨床から基礎へと進路を変えました。当時は悩みながらの進路選択でしたが、本学に就職し、インプラント研究で有名なベルン大学への留学も実現した今、この道を選んでよかったと思っています。

学生時代は進路を含め、迷うことがたくさんありますが、答えはどこにあるかわかりませんので、選択肢を狭めず、自分の答えを見つけてください。



①Myヘルメットを着用した地学巡検 ②初めての国際学会
③ベルン大学の仲間 ④留学時に住んでいた世界遺産の街並み

東京



附属病院
総合診療科4
岡田 智雄

本歯科大学に入学後、少林寺拳法部に入部しました。小中高と運動系のクラブには入ったことが無く、体育が一番苦手、中でも長距離走は全くダメでした。当時、道場の練習以外に、皇居一周を走る練習があり、私が脱落しそうになった時、当時の主将は「脱落者を出したくないからさ、みんなゆっくり走れ」と言い、先輩含む全員が歩くようなペースに落としてくれて完走できました。激しい鍛錬を予想し「ダメなら辞めればいや」と甘く考えていた私は、これに感動し、最後まで部活を続けることができました。

これは実は「日本歯科大学」だからなのだ、後になって知り、自分が指導する時に「その人に合わせて」「続ける」を心掛けるようになりました。学生の皆さんにも「辞める」選択より、「続ける」選択をして欲しいと願っています。



①大学5年生歯学体時の組演武 ②組演武後(右が本人) ③少林寺拳法部の合宿時、同輩後輩と共に
④出張先の東京都青ヶ島(島民数約200人、東京から358km南)
⑤往復は消防庁のヘリコプターで ⑥青ヶ島村の診療風景

国家試験体験記

私は第117回国家試験に合格し、4月から新潟病院で臨床研修歯科医として勤務しています。それぞれに合った学習方法があると思うので、1つの方法として参考になれば嬉しいです。今振り返ると、3つのポイントがあったと思います。

1つ目は、5年生の臨床実習でたくさん症例を見学したことです。実習中、ほとんどの時間を診療室で過ごし、たくさん先生方を見学することができました。分からないことはその場で質問し、

その後教科書で改めて調べたりもしました。今振り返ると、臨床実地問題が解けるようになったのはこれのおかげだと思います。

2つ目は、講義を欠席せずに受けたことです。大切なことは先生方がすべて授業で教えてくれます。講義の復習は何度もしました。

3つ目はメンタルです。6年生の時、勉強がすごく楽しかったです。しかし、プレッシャーがあっただけでもありました。助けてくれたのは家族、友人、

メンターの先生です。皆さんも助けてくれる人がいるはず。たくさん助けてもらってください。

最後にある尊敬する人の言葉を送ろうと思います。「想像しなさい。自分がどんな医師になるかを、歯科医師として何がしたいのかを。そうすればこれは通過点だと思えるはず。大丈夫、歯科医師になれるから。」



新潟病院
臨床研修歯科医
田邊 由佳
(113回)

東京

『インプラント図鑑 視覚で巡るインプラントの世界』

編：日本インプラント臨床研究会編

出版社：クインテッセンス出版 出版年月：2024/07
請求記号：D.57/N 71 登録番号：100039820



豊富な図や写真を駆使し、インプラントの構造や特性を視覚的に解説しています。インプラントのこれまでの歴史的背景を踏まえつつ、治療の進化や最新技術も網羅しており、またChapterごとの重要論文には構造化抄録が掲載され、エビデンスに基づいた信頼性の高い情報を得ることができます。起源や材料だけでなく、術式や様々な比較情報も記載されているため、インプラント治療を理解するために必要な知識が、この一冊に凝縮されています。

●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。



新潟

『最新Q&A 歯科のくすりがわかる本』

編：一戸達也

出版社：医歯薬出版株式会社 出版年月：2024
請求記号：D1.5-1 登録番号：000141651



本書では、日常の歯科診療における薬剤取扱いの注意点や、患者の既往歴に合わせた処方などについて、Q&Aを用いて基本的な部分からしっかりと解説されています。また、各章の間ではコラムとして最新の情報も紹介されているため、歯科におけるくすりについて、基礎から最新の情報まで知ることができ、幅広い読者に勧められる1冊となっています。

●図書館開館情報

平日 9:00 ~ 18:00 第2水曜日 12:00 ~ 18:00 土曜日 終日閉館
貸出・返却・閲覧のみの利用になります。

図書館からの
推薦図書

こうゆう先輩
第35回

効率よく!

医療法人社団公明会 新崎歯科医院 理事長
新崎 公子(94回)



「の6年間、留年と警察の世話にならなければなんでも好きなことをして楽しめ！」同じ日歯の卒業生でもある父から、大学入学の時に言われた言葉です。

その言葉を守るべく毎年留年ストレスの成績をきちんとキープして、留年せずに6年間を終えました。そして大本命の卒試・国試にももちろん落ちるわけにはいかないと、6年生の4月1日からの1年間は、それまで仲の良かった悪友達の誘いには乗らず、成績優秀者の友人にべったり張り付く生活。見事国家試験も一発合格で歯科医師の扉を叩いたのでした。

私は新潟校94回卒、国試は98回合格になります。

歯科医師にはなったものの、学生時代にはいかに授業とテストを効率よくこなすかを目下の目標に生活していた私は、将来像の設計なるものを全く考えておらず、「はて？」一体何科に進むべきなのかもよくわからぬまま、東京校に籍を移し臨床研修医になりました。

研修医の1年間は勉強から解放された安堵感と患者さんに接する臨床という新しい刺激

に毎日が本当に楽しかったのを覚えています。その後は歯科麻酔・全身管理科に所属し、さらに口腔インプラント診療センター併任という、麻酔も勉強できインプラントも勉強できるというとてもラッキーな環境で医局員時代を8年間過ごし、専門医も取ることができました。父の後を継ぎ旭川で診療するようになってからは、休みの日には旅行やゴルフ、東京に出向いては友人たちと会ったり、学生時代には全然わからなかった歯科の勉強もこの歳になってようやく楽しく学ぶことができています。

この記事を読んでいる学生さんたちは、日々の勉強に追われ毎日が苦しいと感じることもあるかもしれませんが、努力は必ず実を結びます。学ぶ時は集中して効率よく学ぶことが大切です。そして遊ぶ時はおもいきり遊ぶ。メリハリをつけた生活を送り、夢を掴むために努力してほしいと思います。



同窓会 みんな和気あいあいと学生時代に戻って楽しいひととき



旭川の校友の先輩家族と山小屋で研修



「テニス部の仲間」



「秋が来た」

校友フォトコーナー

学生さんからの投稿写真を募集します。写真タイトルと名前(ペンネーム可)を付けてください。講義中の写真撮影は禁止です。右のQRコードより応募してください。



校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

KOYU Times 2025 Jan. | no.48



2025年1月0日発行 発行人：渡邊儀一郎 編集人：小川智久
発行：日本歯科大学校友会 日本歯科大学生命歯学部100周年記念館2F TEL.03-3261-8971 FAX.03-3264-8745
URL <http://www.koyu-ndu.gr.jp/>